

11月27日（水）4年 アスリート派遣

11月27日に、4年生がアスリート派遣で、パラスポーツの若生裕太さんに、お話を聞きました。若生さんは、小学1年生で野球を始め、高校野球部時代には甲子園出場経験のある強豪校で主将を務められました。20歳の頃に病を発症し視覚障害になり、2018年4月からパラスポーツを始められました。同年6月よりやり投げに専念し、2019年には日本記録を樹立。2021ジャパンパラ陸上競技大会など多くの大会で優勝を果たされました。東京パラリンピックに出場まで、あと少しというところで及ばなかった悔しさを、「人生すべてポジティブ要素 過去の出来事は変えられないが、解釈は変えていくことができる。」という言葉で努力され、2024年パリで行われたパラリンピックでは、やり投げで7位に入賞されました。

この日は、夢の素晴らしさや失敗や挫折の向き合い方など自分の大切にしている考え方を、子どもたちと一緒に体を動かしながら伝えてくださいました。

子どもたちも、一生懸命聴き、体を動かし取り組んでいました。子どもたちの笑顔があふれる時間でした。



↑ 体育館でお話をお聞きました。

次のパラリンピックでは、金メダルを目指していますとおっしゃっていました。



↑ 外でボールを投げ、コツを伝えていただきました。若生さんのボールは、運動場の端から端まで飛んでいき、みんな驚いていました。